

地域医療連携室通信

2007 (H19) 8月号 (第11号)

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

TEL・FAX : 0969-62-1547 (直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122 (代) FAX: 0969-62-1546

URL: <http://www4.ocn.ne.jp/~kamiama/>

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠

上天草総合病院 理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療を目指します。
2. 私達は、地域に根ざした心あたたかな医療をめざします。
3. 私達は、患者様に安全・安心な医療を提供できるように努力します。
4. 私達は、安心して退院できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

地方公営企業法の全部適用へ移行

病院事業管理者兼病院長 樋口 定信



当院は、旧龍ヶ岳町で町立病院として昭和39年7月に病床数70床3診療科で開院して以来、昭和47年の天草大水害での壊滅的被害などの多くの苦難を乗り越え診療機能を拡充しながら、救急病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院などの指定を受けて、天草上島地域の中核拠点病院としての役割を果たしてきました。

しかし、病院を新築移転した平成3年からの高齢者の多い過疎地の地域医療には厳しい一方の診療報酬改定や医療制度改革など、近年医療を取り巻く環境は益々厳しく、特に平成16年4月から始まった医師の卒後臨床研修による大学病院医局への医師の引き上げ等による医師不足の影響で、種々の経営改善の努力にもかかわらず、平成12年度には不良債務が発生し、累積欠損金も平成17年度末には20億円を越える状況となりました。

このような厳しい状況のなかで市立病院の経営改革を検討するため、上天草市長の諮問機関として「上天草市立上天草総合病院運営審議会」が平成17年2月に設置され、計7回の会議での議論と、個々での検討を重ね、経営

形態のあり方や目標設定などについて審議され、平成18年10月10日に市長に答申され、平成19年2月の臨時市議会で承認され、上天草総合病院は平成19年4月より地方公営企業法の全部を適用し運営することになりました。そして、市長選挙の関係もあり遅れていた病院事業管理者として、6月1日付けで私が病院長兼任で指名され、ようやく全適としての体制が整いました。

これまで財務規定のみの一部適用でありましたが、病院事業管理者に人事権、予算編成権、給与規定等の経営権限が委譲され経営責任が明確になります。そして、全職員と協力して合理的かつ能率的な経営を発揮するためにも更なる職員の意識改革をすすめ、経営改革・経営改善をすすめていきます。具体的な改善第については、審議会の答申を確実に実践することが最善策と考えています。すなわち、

(1) 職員の意識改革：職員の意識改革こそが、改革・改善が成功するか否かの「カギ」です。そのために

「月曜早朝ミーティング」、「各部署との年2回のヒアリング」、「最低月一回の各部署巡回」などを通じて経営の理念・方針・状況や種々の情報の共有をはかり、全員参加型の経営へと意識改革を進めていきます。

- (2) 医師確保：経営改善のために最も重要な課題であり、あらゆる手段を講じて医師の確保に全力を尽くしていきます。幸い、5月には整形外科の藤松 Dr に就任していただき明るい材料です。あとは、一人診療科の解消と内科 Dr（呼吸器科、消化器科）の確保に努力していきます。
- (3) 診療機能の見直し：地域医療・地域のニーズや診療報酬改定、医療制度・介護制度改革に迅速に的確に対応して診療科の見直し、病床の見直しをおこないます。
- (4) 給与制度：賞与カットを含め、経営に見合った給与制度に見直していきます。もちろん職員のやる気を高めていくシステムを構築していきます。
- (5) 人事考課制度：職員のやる気や使命感を高め、人材育成を基本とした制度を構築する。努力した人が報われるように給与制度と連動させるようにします。
- (6) 医師参加の予算編成：医師参加の予算編成を行うことで、医療と経営の一体化をすすめていきます。
- (7) 地域活動への参加：医師を先頭に病院職員が、地域活動に積極的に参加し社会的貢献をしていく中で、病院をアピールし住民との信頼関係を築き、市立病院としての存在意義を確立していきます。

以上に加えて、平成19年度の経営改善策として：

- (1) 10：1入院基本料の条件である平均在院日数21日のクリア：確実にクリアできれば年間3600万円以上の収入増になります。
- (2) 起債の借り換え：新病院建設時の高利率の企業債を国、県に働きかけ利息削減を図ります。実現すれば平成20年からの利息が約2300万円削減できます。

その他にも、考えられる収入増加策、経費の削減策はもとより、経営基盤の強化、病院機能の強化、患者サービスの向上を目指し病院改革に取り組んでいきます。そして、当院の理念である「信頼される地域医療」と基本方針のひとつである「患者様中心の医療」を実践し、実現することが上天草総合病院の経営健全化に結びつくということは間違いありません。職員一人一人が「患者様中心の医療」とは何かを今一度考えて下さい。そして、「健全な経営」なくしては「質の良い医療」は提供できません。職員一人一人が経営に参加する気持ちで経営改善に向けての協力をよろしくお願いします。 「あこや貝 巻頭言」より

研修会・勉強会 報告

「コーチングを楽しく学ぼう」

～職場に生かすコーチング～

平成19年6月15日(金)

講師：ウエルネスコーチ・看護師 芦村 恵

コーチングとは、相手が持つ能力、強み、個性を引き出し、相手の自発的な行動を促し目標を実現させるための手法である

- * 人は無限の可能性を持っている
- * その人に必要な答えはその人にある
- * コーチングは共同関係(同じ目的のために協力してはたらくこと)

を基本としている。

今なぜコーチング手法を必要としているかということ、様々あるが、企業や学校、病院でコミュニケーション不全がおきているからであることで納得でき、職場のあらゆる場面で使用できるスキルを学ぶことができた。

確かに多様な人間関係のなかでコミュニケーション不足によると思われる問題を毎日のように経験する現状で、このスキルを活用できたら、どんなにスムーズな職場環境を作れるか……。

今回はまだまだ、入門編で続けたコーチング学習が必要である。大切なことは人の話を聴くこと「こちらの聞きたい」ではなく「相手の言いたいことを聴く」ということであると講師は強調された。

今回、学んだスキルを思い出しながら意識して接するように心がけたい。

研修会・勉強会予定表

みなさまの参加をお待ちしています

8月	7日(火)	小児勉強会「生化学1」	12:30～	当院6階講堂
8月	8日(火)	関西大学 文化会 落語研究会 特別講演	18:30～	当院玄関ホール特設会場
8月	9日(木)	「全身疾患としての閉塞動脈硬化症(ASO)」 京都第一赤十字病院 心臓血管外科部長 中島 正道先生	18:45～20:15	当院6階講堂
8月	16日(木)	NST勉強会	12:30～	当院6階講堂
8月	20日(月) ～22日(水)	夏季セミナー	17:30～	当院6階講堂
8月	23日(木)	NST勉強会	12:30～	当院6階講堂
8月	27日(月)	リスク勉強会 「誤薬防止」	17:30～	当院6階講堂

トピックス

35周年を迎えた「水害記念式」です。
1972(昭和47)年7月6日におきた、天草大水害で
当院も甚大な被害を受けました。

毎年おにぎり、めざし、たくわんの昼食により当時のことを
偲んでいます。



平成19年7月11日(水)
当院玄関ホールにて
松岡マンドリンクラブは、地元のマンドリンクラブで
す。今年も来て、同じ場所で演奏して頂きました。
心がなごめるいい音色、本当に有り難うござい
ました。